

### 3 骨粗しょう症検診

#### 1 概要

##### 1] 検診方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定

##### 2] 判定基準

		異常認めず	要指導	要精検
音響的骨評価値	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
( $\times 10^6$ )	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

##### 3] 事後指導

骨粗しょう症予防の為の適切な食習慣や運動習慣等について、保健師による個別指導を実施した。

#### 2 実施状況

16市町から検診の委託を受け13,138人（男性605人、女性12,533人）を実施した。

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
男	39歳以下	13 (84.6)	1 (7.7)	1 (7.7)
	40～44歳	5 (60.0)	2 (40.0)	0 (0.0)
	45～49歳	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	50～54歳	10 (80.0)	2 (20.0)	0 (0.0)
	55～59歳	47 (53.2)	14 (29.8)	8 (17.0)
	60～64歳	160 (52.5)	53 (33.1)	23 (14.4)
	65～69歳	251 (53.4)	88 (35.1)	29 (11.6)
	70～74歳	112 (57.1)	30 (26.8)	18 (16.1)
	75～79歳	5 (20.0)	2 (40.0)	2 (40.0)
	80歳以上	0 (-)	- (-)	- (-)
計	605	332 (54.9)	192 (31.7)	81 (13.4)
女	39歳以下	1,600 (77.9)	345 (21.6)	9 (0.6)
	40～44歳	882 (80.2)	167 (18.9)	8 (0.9)
	45～49歳	925 (79.1)	174 (18.8)	19 (2.1)
	50～54歳	1,035 (64.4)	315 (30.4)	53 (5.1)
	55～59歳	1,417 (40.5)	674 (47.6)	169 (11.9)
	60～64歳	2,201 (28.0)	1,187 (53.9)	398 (18.1)
	65～69歳	2,726 (23.2)	1,434 (52.6)	660 (24.2)
	70～74歳	1,225 (20.2)	638 (52.1)	339 (27.7)
	75～79歳	367 (17.7)	187 (51.0)	115 (31.3)
	80歳以上	155 (11.0)	57 (36.8)	81 (52.3)
計	12,533	5,504 (43.9)	5,178 (41.3)	1,851 (14.8)
総数	13,138	5,836 (44.4)	5,370 (40.9)	1,932 (14.7)